

梓川地区 市長と住民の「こんだん会」報告レポート 【ダイジェスト版】第2号

○ 詳細版 は、こちらからご覧ください。 →
(パソコンからは「梓川地区」こんだん」報告」で検索)



9月15日に開催した 市長と住民の「こんだん会」の報告レポート【ダイジェスト版】です。先月の第1号に引き続き、第2号として後半部分の内容について報告します。

※ 市の公式ホームページでは 詳細版 及び ダイジェスト版第1号・第2号をご覧ください。(上記 QR コード等 参照) また、紙の報告レポートをご希望の方には郵送でお送りしますので、梓川地区地域づくりセンターまでご連絡ください。(電話78-3000)

1 趣 旨

梓川地区の10年後について考えよう！

まちづくり協議会が改訂を進めている「梓川地区まちづくり10年計画(改訂案)※」の内容を4つのテーマに分け、各テーマに取り組んでいる団体等の代表者から市長へ、活動状況と10年後の夢について元気な声を届けていただくことを目的としました。

※ まちづくり10年計画は下記 URL または QR コードからご覧いただけます。

https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/life/92423_288214_misc.pdf



2 日 時 令和4年9月15日(木) 午後6時～8時30分

3 場 所 梓川公民館 多目的会議室

4 参加人員 臥雲市長ほか27名(事前の出席依頼者16名、傍聴者5名、関係職員6名)

※ 事前の出席依頼の団体等(テーマ順)

松本市梓川新規就農支援里親の会、農業委員、農業経営者、農業青年、加工組合さくら、梓川少年スポーツ教室、梓川地区まちづくり協議会、健康づくり推進員、あずさっ子見守り隊、町会サロン等のボランティア、消防団、梓弓研究会

5 こんだんのテーマ

テーマ1 農業振興、地産地消推進について

テーマ2 「梓川少年スポーツ教室」の取り組み

テーマ3 全ての人にやさしいまちづくり

テーマ4 歴史・文化の学習や伝承による生涯学習(「梓弓研究会」の取り組み)

※ 今月号はテーマ3と4について、また市長のまとめのコメントがあります。

6 発言の要旨

☆テーマ3 全ての人にやさしいまちづくり

～ 高齢者等の生きがい・交流の場・健康づくり、子どもの見守り等、住民がお互いに支えあう絆づくり活動を通じて、災害にも強いまちへ～

【まちづくり協議会】

地域の特色に応じた防災体制を!

- ・ 梓川地区の指定避難所は主な公共施設8カ所が指定されている。災害時に、各施設に

何人避難できるか、要支援者はどこに避難するか、何家族が何日間生活できるか、災害規模によっては備蓄が何の役に立つだろうかと思う。

- ・ 梓川に架かる橋が崩れたら物資輸送ができなくなることが考えられる。できれば、川や地形を考慮した防災対策を検討して欲しい。

梓川をモデル地区としてデマンド交通を！

- ・ コミュニティバスの路線については、住民アンケートの結果を基に提言したとおり、交通結節点を新村駅から梓橋駅に変える方向で変更いただくことになり感謝する。そこで、朝夕を除く日中の便を、デマンド交通にさせていただきたいと希望する。塩尻市などのデマンド交通は素晴らしいシステムだと思う。ぜひ、梓川をモデル地区として実現していただきたい。

免許返納しても安心して住める公共交通を！

- ・ 河岸段丘の上と下の往復がとても大変で、距離としてわずか100mでも坂があるため買い物にも行かれない、という声が多くある。今後免許を返納した時に、ここに住めるか不安だという声も多くあった。交通施策は市街地とは大きく異なることを考慮して進めていただきたい。

<市長のコメント>

- ・ 1つ目の防災について。避難所の備蓄は、最初の2日間に対応できる量を想定しているが、ご要望のとおり、より近い場所に従来の施設以外の物資集積所などを考えていくべきだと思う。
- ・ 2つ目の公共交通について。コミュニティバスの見直しについては、35地区の中でも積極的に提言いただき、路線を新村駅に行くのを梓橋駅に変えることとなった。来年4月から市の公共交通が大きく変わるが、梓川地区の人がアンケートを行い、具体的にこうして欲しいと提案してもらったことは大きかった。

【町会サロン等のボランティア】

老若男女が気軽に集まれるサロンから顔の見える関係へ！

- ・ 町会で昨年から、隣組ごとのハザードマップを作成できた。その後の段階として要支援者を支援できるための支え合いマップを作りたいが個人情報に壁となっている。
- ・ 町会サロンを、子どもも気軽に来てもらえる場にしたいと思う。子どもを中心として地域があり、周りの大人が支え見守る、支え合いは一方的なものではなく、子どもも高齢者も皆で自分ができることをやることだと思う。サロンから顔の見える関係を広げていき、防災にも活かしていきたいと思う。

出前ふれ健、百歳体操で地域の居場所づくり&健康づくり！

- ・ 出前ふれ健の中でフレイル予防のための「百歳体操」を体験してもらったところ好評で、何回も続けてやりたいという声が多かったので、農閑期の12月から始める予定。
- ・ このような機会が居場所づくり、健康づくりにつながればと思う。健康づくり推進員になって福祉ひろばの存在を身近に知ることができ、ふれあい健康教室は毎月楽しい企画なので、地域の多くの人たちに声がけしたいし、自分も積極的に参加して健康づくりに役立てたい。

【あずさっ子見守り隊&百歳体操】

子どもたちから元気をもらいながら健康づくり！

- ・ あずさっ子見守り隊の活動は、自身の健康づくりのためのウォーキングも兼ねて9年間続けている。水路など危険箇所も多くあるので特に注意している。登校時の子どもたちと歩くのはとても楽しいし、私の生きがいになっている。より多くの目で見守りができるよう、多くの方に健康づくりを兼ねて参加していただきたいと思う。

男たちよ、ひろばへ集おう！

- ・ ひろば事業として、週2～3回ウォーキングの会や、百歳体操、スポーツ吹き矢、男の運動ひろばといった運動系の事業に参加している。健康維持、フレイル予防、交流を図れる通いの場として大変ありがたい。特に男性にはもっとひろば事業に参加して欲しいと思う。

<市長のコメント>

- ・ あずさっ子見守り隊のように、子どもとふれあい向き合うことは、高齢者と接する機会が少なくなった子どもにとっても改めて貴重な機会だと思う。
- ・ 公民館や福祉ひろば 子どもやファミリーがもっと来たくするようなプログラムの工夫をぜひ進めてもらいたい。
- ・ 公民館は、建物としても、ソフトとしても地域の財産であるから、ぜひ子ども、中・高生から高齢者までの多世代が交流する場として欲しい。そのためにこれが必要だと思うものやことがあれば、市に対して声を上げていただきたい。



「男の運動ひろば」ではウォーキング、体操の他、料理、コーヒー焙煎なども楽しめます！

【消防団員】

地域に貢献できることの充実感！来年こそ大会出場！

- ・ 消防団員として6年目。月2回の地域内の巡回や、防火水槽の清掃、訓練等を行っている。コロナの影響でなかなかフルに活動できていないが、分団長を中心に頻りに連絡を取り合い、現況報告等をしているという現状。来年は、ポンプ操法大会に参加予定であり、チームワークと技術を高めていきたいと思う。

一人でできることは限られているから地域みんなで助け合い！

- ・ 消防団に入団した理由は、大学の防災士の授業を聴いて、初めは自然災害から自分の身を守れればと思ったが、自分一人でできることは限られているからこそ地域みんなで助け合うことが重要だと学んだ。地域防災の要としての消防団を知り、地域のために何かできたらという思いで入団に至った。
- ・ 梓川地区の防災体制についてしっかり学び、地域のために自分の役割を果たしていきたい。

<市長のコメント>

- ・ 消防団の若者離れにより団員数が減少している理由の一つとして、ポンプ操法の訓練等で日曜日まで駆り出されることが多く大変だというイメージがあると思う。
- ・ 今の若い人たちは、気候変動等、社会の諸課題に関して20～30年先を見据えた問題意識を持っていると感じる。若い人たちが古いしきたりを敬遠してしまうなら上の世代が変えていかねばならない。
- ・ そうはいつでも消防団は、良い意味で20代、30代の横のつながりや仲間づくりができる場。お二人とも友達の輪を広げて、もっとこうしませんかという声を遠慮なく上げて行って欲しいと思う。頑張ってください！

☆テーマ4 歴史・文化の学習や伝承による生涯学習（「梓弓研究会」の取組み）

【梓弓研究会】

- ・ 梓弓研究会は、梓弓をはじめ周辺地域の歴史や文化財などの調査、研究、発表、普及の活動をしている。こんだん会にあたって何人かの人から情報をいただいております、本日は2つのことをお願いしたい。

城山公園の発掘調査を！

- ・ 城山公園内に、前方後円墳の可能性が極めて高い場所があるので、発掘調査をお願いしたい。今年5月13日(金)の信毎にこの件の記事が掲載された。もし、古墳なら弘法山よりも後の時代のものということになる。学術的にも価値が高いので、是非お願いしたい。

日本に2台しかないスタインウェイのピアノが梓川に！

- ・ 梓川小学校の音楽室にスタインウェイのピアノがあるので、指定文化財に指定いただきたい。このピアノは、大正時代、旧倭村の篤志家たちがお金を出し合い、旧倭小学校に寄贈したもので、昭和60年、一度修理に出した時、日本には2台しかないピアノの一つで、大変貴重なものであることがわかった。(もう1台は東京芸術大学)
 - ・ 当研究会では、随時会員を募集しているので、歴史・文化に興味ある人がいれば是非お声がけをお願いしたい。



<市長のコメント>

- ・ 城山公園は、私の通っていた丸ノ内中学校の近くで馴染みがある場所。ご発言の内容を文化財課に伝えたい。
- ・ スタインウェイのピアノは現役で使われているとのことだが、文化財になっても使えるのかという疑問もあるので担当課に確認したい。日本に2つしかないピアノの一つが梓川にあるということに大変驚いた。これからも大切にしていっていただきたい。

☆ まとめ <市長のコメント>

- ・ 農業と女性の支援のあり方について、改めて最前線で活躍されている皆さんから様々な要望をいただいた。明日直ちに担当とディスカッションしたい。
- ・ 少年スポーツ教室や、地域を支える活動をされている皆さんからのお話を聞いて、その活動を、今後どう広げつなげていくかということについて改めて考えさせていただいた。
- ・ 消防団の若い二人にはこの機会によく参加いただき大変ありがたく思う。
- ・ こんだん会は当地区で11カ所目だが、世代、分野ともに幅広い皆さんにお集まりいただき、貴重な時間を過ごさせていただいた。
- ・ 合併前とは様々な前提条件が違うため、旧村時代のあり方そのままというわけにはいかないが、私としては地域拠点強化や市役所の分散化を進めたいと考えている。もう一度35の地区、昔の村や地域の単位に立ち返って、それぞれの良さ、魅力をふまえて、どのように課題解決に導いていくのかということが改めて必要だと感じている。
- ・ 梓川に帰って来て欲しいという声が聞かれたが、どこの地区の人も同じ。帰って来るだけでなくIターン、つまりその地域に魅力を感じて入って来る新しい人たちも受け入れて、昔からの伝統の良さを、さらに新しい人たちとともに高めていっていただきたい。
- ・ その支え合いを、皆さんの求めていることに応えながら支える役割を果たすことが私の仕事だと思う。今日のお話を聴いて、少しでも梓川が前に進んだと思えるように取り組んでいきたい。引き続きよろしく申し上げます。

(以上)